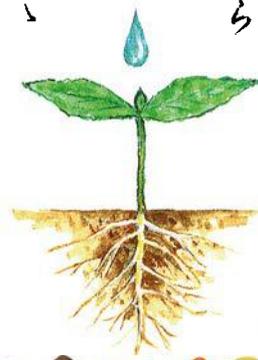


漢方
 小児科 婦人科
 内科 産科
 浮田医院
 だより



第 68 号
 医療法人 せゝらぎ会
 発行所：浮田医院
 〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
 TEL 0740-32-3751
 FAX 0740-32-3795
 (パソコン) http://www.ukita.gr.jp
 e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
 発行日：2007年2月5日(月)
 発行者：浮田 徹也



漢方薬のよせ(68) 高血圧症 II

大塚が創った漢方薬



亥年(いじど)も一ヶ月が過ぎました。亥は十二支の最後の年です。陰中の陰の年ですが、新しい干支子年が始まる準備の時でもあります。やがて芽を出す息吹の年でもあります。今は根を大きく広げる時期と言えるかも知れません。新暦では二月四日が立春ですが、旧暦では二月十八日がお正月(春の初日)で、新しい年が始まる満月の日です。この日から春の陽気が立ち始めるとされています。また、地中で冬眠していた虫たちが、春の陽気に誘われて地上に這い出すと言われる啓蟄は三月六日ですが、旧暦では一月十七日です。旧暦(太陰暦)の世界観も楽しいと思いませんか。今月は**高血圧症**のお話です。最高血圧が一四〇以上、最低血圧が九〇以上を高血圧症と言います。両親や同胞などに高血圧症の家族歴を有する原因不明の本態性高血

圧症(あつしやう)と心臓や血管疾患、糖尿病、腎臓病、甲状腺疾患などが原因の二次性高血圧症があります。B M I 二十二程度を目指すような減量、一日七ツツの減塩、一回三〇分の運動を一週間六回するように心がけることが大切です。また、更年期の女性の場合、卵巣機能低下によ



梅 岡山(園) 楽後

る血管運動神経症状(顔面紅潮、発汗)、自律神経症状(不安感、憂鬱感、イライラ感)が血圧を上げていることが多いようです。また、妊娠中の場合、最低血圧が九十五を超えると治療が必要になります。東洋医学では、「肝」「心」「腎」を調和することを考えます。特に、腎や肝や心の陰(栄養分、水分)が不足すれば、腎や肝や心の陽(エネルギー)の見かけが増え、のぼせ、ほてり、興奮、怒り、不眠などの症状と共に血圧が上昇してきます。過食、不摂生(過度の性生活、夜更かし)、慢性疾患、老化、過度の情動などは陰液を消耗させます。では実例に移ります。

六十五才女性、**高血圧症**(一七〇/一〇〇)、不眠、肩こり、便秘(一週間に一回)、足の冷え。両ほほは赤く紅潮、目蓋のむくみ、胸脇苦満(両側季肋部の抵抗と圧痛)、心下痞硬、臍上悸、臍傍抵抗と圧痛(両側)、臍下不仁(下腹部軟弱)。脈は沈、緊。舌は紫紅色、乾黄苔。そこで、柴胡加竜骨牡蠣湯と当帰芍薬散、大黃を処方。一ヶ月後、血圧はやや下降(一五〇/九〇)、便通、肩こりが解消

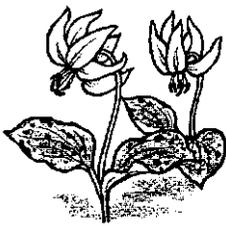




二ヶ月後、血圧下降（一四〇〜九〇）、不眠や足の冷え減少。六ヶ月後、血圧も落ち着いた（一三〇〜九〇）。二年後の現在も服薬中。

二十七歳女性、アレルギー性鼻炎、貧血、下肢の冷え。顔は蒼白く、胃内停水、臍上悸、下腹部は軟弱。脈は沈、弱。舌は、淡暗白色、薄湿白苔。そこで、苓甘姜味辛夏仁湯+修治附子末を処方。一週間後、水鼻もクシャミも改善。二年間服用して廃薬。その後、再発していない。

五十七歳女性、更年期障害（鬱タイプ）、午前中は憂鬱、倦怠感、何もできない、起き上がろうとする、とめまいがする。食後は眠く、るい、時々顔がほてり、汗が出てくる。足が冷え、むくむ。夕方五時頃になれば家事を少しすることが出来る。両頬はやや紅潮、腹は全体に柔らかく、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、臍下不仁（下腹部は膨満）。脈は弱、沈、遅。舌は淡紫紅色、薄乾白苔。そこで、柴胡加竜骨牡蠣湯と当归芍薬散を処方。二ヶ月後、昼食の準備ができ始め、足の冷えやむくみが改善。三ヶ月後、顔のほてりや汗の出が改善。六ヶ月後、朝食の準備もできる日がある。一年後、時々憂鬱だがほぼ家事ができた。三年後、継続中。



〔院長〕

三十三歳女性、めまい、足の冷え、腰痛、肩こり、頭痛、便秘。血色良好（顔面紅潮）、腹壁は軟弱、左右胸脇苦満（軽度）、胃内停水、臍上悸、臍下不仁、下腹部膨満。脈は沈、弱。舌は淡紅色、厚湿白苔、舌下静脈怒張。そこで、半夏白朮天麻湯+修治附子末を処方。一ヶ月後、めまい、頭痛、足の冷え、腰痛、肩こり、便秘、肩こりなど改善。六ヶ月後、不快症状はなくなる。体質を改善する目的で三年間服用して廃薬。

二月は、京都薬科大学や漢方研究会（京都）で講演する予定です。このような時間も楽しいひと時です。次回は、子宮内膜症 III についてです。



アレルギー性鼻炎

1〜5月頃、8〜10月頃の季節に発症すると年中症状のある人がおられます。花粉、ほこり、動物の毛、気温、感情の変化の影響が大きいと思われます。鼻水、鼻づまり、クシャミの激しい時の漢方薬（発作用）と体質改善の漢方薬があります。また、血液でアレルギー検査（花粉、動物の毛、食べ物など）もできます。



更年期障害

女性ホルモンが不足し始めると、それまでと違い、筋肉、血管、関節、骨などの弾力性が低下してきます。心も体も硬くなり、人との係りや環境に敏感になってきます。生活の不摂生（寝不足、過食、過労、過度の性生活など）、慢性疾患、過度の情動などに影響を受けやすい時期です。当院は漢方薬を中心の治療をしています。



めまい

生命にかかわるめまい（脳梗塞、出血、腫瘍、外傷など）でなければ、漢方薬中心の治療がよいでしょう。発作の時は、注射や点滴でめまいを早く治療しましょう。しかし、なによりもめまいを起こしやすい体質を改善することが大切です。生活、環境、食事、心の調和をとり、無理のない毎日を送ることが必要です。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：**錠剤タイプ**の漢方薬と**顆粒タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：**良質の生薬**を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
 - ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膈分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります。
(予約制、2回/月)。午後2時～2時20分、
2時20分～40分、2時40分～3時、3時～3時
20分、3時20分～3時40分。日程は掲示板や
ホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス ・メシマコブ
・靈芝 ・AHCC ・サメ軟骨

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が
使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、
早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、
その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。
往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問
診察**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、
肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、
花粉症、アトピー性皮膚炎、ストレス・・・
などの治療に利用しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは3.0mm、
いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。
肩こり、腰痛、膝関節痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の
治療に適しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーを
ご希望の方、**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**
を書き**処置**の欄にチェックして下さい。

外来診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○(予約可)	○(予約可)	○(予約可)	○(予約可)	○(予約可)	○(予約可)	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○(予約可)	—	○(予約可)	—	○(予約可)	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約不要) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分
1月2回(日程はホームページ、掲示板参照)。

◇更年期外来(月～土曜日)(予約可): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日)(予約可): 赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日)(予約可): 妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 平成19年3月3日、4月7日の各土曜日
対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約お願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。

立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前を記入をお願いします)

後期-母親教室

日時: 平成19年2月7日(水)、17日(土)、28日(水)3月7日(水)、17日(土)、28日(水) 対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。
参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。(“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。)



附子

キンボウゲ科烏頭の側根で、味は大辛、性は大熱、有毒。強心作用(心臓の収縮力を高める)によりショック(循環不全、呼吸不全)、四肢や背中への冷え、浮腫を、鎮痛作用により激しい疼痛やしびれを、その他下半身の冷え、下腹部の痛み、腰や膝のだるさなどを改善します。投与量が多すぎると、中毒症状として、四肢の痺れ、めまい、発汗、よだれ、悪心、動悸、不整脈、血圧低下、痙攣などが現れます。慢性関節リウマチ、低血圧、甲状腺機能低下、早発閉経、慢性胃腸機能低下、副腎機能低下などに応用します。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。
ご予約には、**分娩予約カードと予約金10万円**が必要です。
予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

外来の予約方法

患者様の診察の待ち時間が短くなりますように、診察の時間予約をしています(再診の方のみ)。
そのため、予約頂いている患者様を優先させて頂きます。
また、通院中の患者様の中でお薬だけ・注射だけ・検査だけの患者様の場合は時間予約の必要はございませんので診察時間中にお越し下さい。
◆ご予約頂いておりましても、分娩などで診察を中断する事もございますのでどうかご理解頂きます様をお願い致します。
◆初診の方は予約できません。ご了承ください。

パソコンホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

お知らせの欄(トップページ)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
分娩希望の方はすべて受け付けています。

母乳相談(助産師)

母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
(電話予約可)午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接: 随時、各種保険加入、賞与: 年2回、交通費支給。